

情報学習センターの人権教育関係ビデオ一覧

請求番号	題名	時間	内容	登録年
C03-2	平成25年度 ふくしの心		大分市社会福祉協議会が作成した学校の福祉教育のための副読本「ふくしの心」とその指導書です。	2013
D03-11	おれたち、ともだち！	4話収録 52分	「ともだちや」 ある日、キツネはくともだちや>を始めることを思いつきました。1時間100円でともだちになってあげるのですが、さて…。 「ともだち くるかな」 朝からオオカミは庭先をはいたり、家を掃除したりです。だけど、夕方になっても誰も来ません。誕生日にともだちが祝いに来てくれるはずですが？ 「あしたも ともだち」 キツネとオオカミはともだちどうし。なのにオオカミが変なのです。なんだかキツネを避けてみたい。「どうしてなの？オオカミさん。」 「ごめんね ともだち」 オオカミはキツネと初めての大げんか。仲直りがしたいのに、あの一語が出てきません。「ごめんね」って。心の中なら言えるのに。	2012
D03-12	ねずみくんのきもち	12分	ロングセラーのねずみくんの絵本シリーズの中の「ねずみくんのきもち」を映像化した作品です。 いじめやコンプレックス、自然とのつながりなどの大切なテーマをねずみくんと一緒に学べる楽しいアニメーションです。一人一人が大切な存在であるということに気づき、共に生きていることを感じることができる作品です。	2012
D03-13	やさしいオオカミ	15分	悪の代表・暴力の代名詞にされているオオカミ。実はやさしい心を持ち本当の強さを持っていたのです。	2012
D03-14	未来への虹	30分	この作品は、ハンセン病患者の平沢保治さんをモデルにして書かれた子ども向けの本「ぼくのおじさんは、ハンセン病ー平沢保治物語ー」をもとに、小学校高学年以上の方に見てもらうことを目的として作られたものです。平沢さんは、この作品の中で、これからの未来を担う子どもたちに、差別の痛みや苦しみを、帰りがたくも帰れないふるさとへの想い、そして「人権」の大切さを語りかけています。	2012
D03-15	桃色のクレヨン	28分	いとこの雪が8年ぶりに外国から帰ってくることを知らされた美奈子は、英語を教えてもらいたい、一緒にいろいろなことをして遊びたい…と、期待で胸がふくらむ。美奈子は、雪のことを学校で一番仲良しの沙希や夏子に自慢する。ところが、美奈子の前に現れた雪は自分が想像していたよりも幼く見えた。雪には知的障害があったのである。とまどった美奈子は、そのことをかくすためにみんなにウソをついてしまう。そのウソがばれて、美奈子は、クラスで仲間はずれにされてしまう。そんな中、雪のやさしさにふれることで、美奈子は様々なことに気付かされるようになる。	2012
D03-16	プレゼント	15分	小学4年生の綾香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントする。それは、美由紀のことを思ってたプレゼントであったが、美由紀の気に入るものではなかった。腹をたてた美由紀は、それから綾香にいじわるを始める。美由紀がいじわるをするようになってから、それまで仲の良かった茜や恵まで綾香を避けるようになり、やがてクラス中が綾香を仲間はずれにするようになった。ただひとり、クラスで孤立している麻里だけが綾香をかばったが、ある出来事をきっかけに、綾香は学校を休んでしまう。	2012
D03-17	見上げたい青い空	34分	いやがらせメール、プロフ(プロフィール)、掲示板。匿名性が高いネット時代の「いじめ」は、ウィルスのように次々と感染していき、陰湿な仕打ちもまるでゲーム感覚です。そして、誰が次のターゲットになるか分からない疑心暗鬼から、クラス全員がいじめる側に加わろうとする一方、ターゲットとされた子どもは24時間365日いじめにさらされてしまう残酷さもネット時代の「いじめ」の特徴です。「いじめ」によって子どもが自殺するのは、決してその子どもが弱いからではなく、現代のいじめがそれほど残酷だからです。このビデオは、巧妙かつ残酷ないじめの現実、そして、いじめられる側もいじめる側も苦しんでいる「いじめ」の本質を直視していただき、あらためて「いじめ」について考えていただくきっかけになることを企図して作成されました。ご覧になった方の一人一人に、人ごとではなく自らの問題としての「気付き」があることを願っております。	2012
D03-18	「君ならどうする？いじめ」	18分	いじめについて、いじめっ子の心の弱さをテーマにしたドラマになっています。いじめっ子、いじめられる子、そして傍観者と呼ばれる子供たちが、それぞれの弱さの本質をつかめるように工夫しています。子供たちが自らいじめを排除するため、いかに対処すべきかを話し合う教材としてご活用ください。	2012
D03-19	パパ、ママをぶたないで	20分	「家庭がいつも父親の機嫌でビリビリしていて、その原因が自分であると思ひ込みじっと辛抱する子ども。それを王様に話したことから、事態に変化がおきる…」 「誰かに話してもいい、責任は子どもにはないのだよ。」と語りかけるように作られた本作は、DV問題解決の本質を描き、高く評価されている。	2012
C03-1	平成24年度 ふくしの心		大分市社会福祉協議会が作成した学校の福祉教育のための副読本「ふくしの心」とその指導書です。	2012
D03-10	15歳のワークルール	17分	①「入社までの注意」②「労働時間と賃金」③「職場いじめ」の3つの場面で起こる具体的なトラブル事例とその解決方法を紹介しています。それぞれのテーマについて法律的に詳しく解説したブックレット付。	2012
D03-09	名前…それは燃えるいのち	18分	ひとりにひとつ、誰もが持っている名前。自分の名前。友だちの名前…名前に込められた思いに気づいたとき、ひとりひとりの命の大切さ。ひとりひとりの違いの素晴らしさがみえてきました。	2011
D03-07	人権のヒント 地域編 「思い込み」から「思いやり」へ	25分	街の喫茶店「カフェ・ヒューマンライツ」のママのところに、さまざまな思いをいだいた人々が集まってきます。その交流のなかから、「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していきます。	2010
D03-08	人権のヒント 職場編 気づきのためのエピソード集	22分	ごく普通の会社員の日常を描きながら、日頃は気づかない「人権のヒント」を探り、職場のなかで私たちが考えるべき人権問題について提起しています。	2010
D78-02	こぎつねのおくりもの	30分	人間とぎつねの温かいふれあいを描いた、悪人のいない明るく楽しい感動のアニメーション。	2010
V03-72	いじめっ子狼とナナちゃん	24分	森の動物たちは狼のことをいつもお腹をすかせてすぐに暴力を振るういじめっ子とうわさし嫌がっていた。狼は、自分を恐れない子ヤギたちに戸惑いながらも次第に打ち解けていく。	2010

情報学習センターの人権教育関係ビデオ一覧

請求番号	題名	時間	内容	登録年
D08-01	文字で伝える要約筆記 ～視覚障がい者へのコミュニケーション支援～	13分	要約筆記とは何か、どのようにして聴覚障がい者に情報を伝えているのか、要約筆記の利用方法、どうすれば要約筆記者になれるのかなどを紹介しています。	2010
D03-06	配偶者からの暴力の根絶をめざして ～配偶者暴力防止法のしくみ～	35分	配偶者からの暴力は、犯罪となる行為を含む重大な人権侵害です。配偶者の暴力は身近なところで起きています。このDVDでは、配偶者からの暴力の根絶をめざして、「配偶者暴力防止法」のしくみ等についてわかりやすく紹介しています。	2009
D03-04	ひとみ輝くとき	35分	子どもの世界で起こっている、いじめや虐待の問題を大人が自分のこととして考え、子どもを家庭・学校・社会が協力し合って支えていく社会の形成を願って制作される。また、子どもたちがこのビデオを通して「いじめの構造」を知ったとき、自分の立場を判断し、皆で話し合いのできる作品。	2008
D03-05	エールを贈るバス	29分	バスの中で、自分の息子がはしゃぎ、周りに迷惑をかけたと思った母は、「言うことを聞かないとあの子みたいになるよ」と言い、同乗している障がい者の智香を傷つけてしまった。直子は母の間違いに気づき二人で謝罪する。そのことによって直子と智香の友情が芽生え、障がい者も健常者も同じ社会の一員として認め合うことの大切さを学んでいく作品。	2008
D78-01	長編アニメーション映画 「ハードル」	86分	横浜に暮らす有沢麗音(レオン)は、小学6年生のある日クラスメートの万引きを目撃してしまう。中学受験を控え、心にストレスを抱えているときだった。しかし、友人の名を言わなかった麗音は、犯人と誤解される。無実を信じてくれない大人たちの態度に麗音は深く傷つくが、友人と文具店のおばさんの言葉に救われ、心の輝きを取り戻す。やがて中学3年生になった麗音は、・・・正義と勇気について考えさせられる作品。	2008
D79-01	山古志村のマリと三匹の子犬	45分	2004年10月23日に発生した「新潟県中越地震」。山古志村では家屋が倒壊し、全村に避難命令が出されるほどの被害が発生した。その災害地に取り残されるながら、強く生き抜いた犬の「マリ」と、その三匹の子犬たちの実話をもとに、命の大切さ・尊さを伝える心温まるアニメーション作品。	2008
D91-03	鬼の子とゆきうさぎ	22分	鬼の子と人間の女の子ユキとの不思議な友情の中から、私たちが忘れていた「やさしさ」や「思いやり」が伝わってくる。あたたかい感動が心に残る詩情あふれる愛のメルヘン。この作品は、中学1年生が書いた作品で、シカゴ国際児童映画祭で2位に輝く。	2008
D91-04	桂福団治 心の手話落語①	22分	手話で楽しむ日本の民話 ①ツルの恩返し ②どっこいしょの豆腐 ③鶴亀さん の3本が収録されており、子どもから大人まで楽しむことができます。	2008
V03-71	みんな友だち	15分	悩み疲れたペンギンが気づいた自分の可能性・・・。 いじけ、いじめ、そして友情。ペンギン、カモメ、カラス、海亀&神様がおりなす生きるチカラの物語。	2007
V03-70	人権を行動する ～その時あなたはどうしますか～	25分	私たちの暮らしの中で、人権を守ることの大切さがわかっていながら、なかなか行動にうつせないことは多いものです。私たちが行動から遠ざけている理由は何でしょうか。三つのケースを設定して考えていきます。	2007
V03-69	ひびけ和だいこ	22分	学習発表会のために和太鼓の練習を公民館でしていた時、地域住民から太鼓の音がうるさいと中止の申し入れがあり、子どもたちは一方的に練習中止を言い渡されます。「他人の権利を大切にすることが自分の権利を守ること」と気づくことをねらっています。	2006
V03-68	きずだらけのりんご	23分	人間に化けてしまった女の子と友だちになったいたずらタヌキのゲンタ。すっかり人間だと信じられ友だちとして楽しい日々が続くが、嘘をついているのに耐えられなくなってくる。そんなある日、嘘を隠そうとして大変なことに。	2006
D03-01	バースディレストラン	30分	中学3年生の主人公が、父親の死によって初めて自分の両親の離婚の原因が部落差別にあったことを知り、部落差別と正面から向き合い乗り越えていこうと決心するまでの姿を描いています。	2006
D03-02	同級生	30分	30年前、部落差別が原因で物別れになってしまった二人の父親が、子どもたちや家族同士のふれあいの中で再び部落差別と向き合いながら友情を取り戻していく姿を描いています。	2006
D03-03	みんないちばん	13分	ともだちのいいところを認め、自分のいいところを見つけることのすばらしさを伝えます。自分も大切、相手も大切という人権感覚を身につけることにつながります。	2006
V03-67	いつもこころにほほえみを	24分	絵本風の3つのドラマを通して人権、生きる喜びへの《気づき》を再発見します。 ①初めて障がいのある人を見た子ども ②ノラネコを通して考える命の大切さ ③戦争の愚かさや平和の大切さ、「世界人権宣言」	2005
V03-66	ごめんね、みーちゃん	12分	分かりやすく心あたたまるストーリーの中で、どんな生き物にも尊いものがあること、それを大切にしなければならぬのだということを、やさしく、力強く、訴えかけます。	2005
V03-65	今でも部落差別はあるのですか？ マイナスイメージの刷り込み	38分	部落差別は、誰から伝えられ、どういうふうには広がっていくのか。部落差別を温存してきた社会システムとそれを支えてきたサイクルを考えあう問題提起型の教材です。	2005
V03-64	風の旅人	30分	通りががりの人に声をかけてペット式の車椅子を押してもらい旅をする、実在の重度身体障がい者の感動的な生きざまを描いています。	2005
V03-63	五井先生と太郎	16分	主人公・太郎の両親は、言語と聴覚に障がいをもっています。しかし、2人は障がいを「神が与えた運命」と受け止め、気高く生きています。その姿から、児童・生徒差別や偏見をなくすことの大切さを考えさせます。	2005
V03-62	こころの交響曲	43分	このビデオは、家庭や身近なところで起こる言葉や力による暴力の問題を取り上げ、「人間の尊厳・命の尊さ」、「自他共により良く生きていくためには何が必要か」、「家族のあり方」などを考えるアニメ作品です。	2004
V03-61	みんなで跳んだ～城北中2年1組の記録～	28分	「運動会のクラス対抗大縄跳び。勝つことを選ぶのか、それともクラスの和か？2年1組のみんなは悩み、葛藤する。そしてみんなはひとつの選択を・・・」たくさんのテレビ番組で紹介され、感動の渦に巻き込んだ実話のアニメです。	2004

請求番号	題名	時間	内容	登録年
V03-60	そっとしておけば～寝た子を起こすなという考え方～	36分	「そっとしておけば自然と差別がなくなる」という考え方は根強く存在しており、部落問題の解決にとって古くて新しい課題です。ある市民劇団での出来事をドラマにした問題提起部と、CG・資料を使った解説部の2部構成で、考えること・話し合うことを大切に人権研修やワークショップでの活用に最適なビデオ教材です。	2004
V03-59	私のないわたし～同調と傍観～	30分	人権侵害に気づいているのに行動できない「私」…。このビデオでは、行動化を妨げている同調と傍観について、ドラマ(不当配転・部落差別・セクハラ・誤ったしきたり)と解説部の2部構成で問題提起しています。人権研修やワークショップでの活用に最適なビデオ教材です。	2004
V03-58	盲導犬クイールの一生(アニメ)	25分	「人間らしい歩き方を思い出させてくれた。」「盲導犬は、ただ道を教えてくれるだけと思っていましたが、でも違いました。いっしょにいてだけで気持ちを明るくしてくれる友だちなんです。静かに、いっしょけんめい生きました。クイールは、ずっとあなたのそばにいます。」(岩波映像)アニメーション版	2003
V03-57	よーいドン!	18分	この作品は、子どもたちが友だちの違いを理解し、その違いを排除するのではなく受容していく「共生」の素晴らしさと、その根底にある人間の尊厳を描くことをねらいとしています。また、最近の子どもたちの「忍耐力の欠如」や「人の痛みを感じない」等の問題点にも焦点を当てるために団体スポーツ競技を題材とし、正しい競争とは何か感動を伴わせながら描いています。	2003
V03-56	アミーゴ 友だち	15分	それぞれ異なった文化や言葉、習慣を持つ子どもたちが、ときにすれ違いながらも、スポーツや動物とのふれあいをとおし、真の友情にめざめ成長していく心あたたまる物語。	2003
V03-55	5等になりたい。	76分	小さい頃の病気がもとで4歳まで立つことすらできなかった律子。小学校に入っても、皆と同じように歩くことができずクラスメイトにからかわれるのでした。石橋先生からく人としての本当のやさしさ、強さを教わります。それをきっかけに…	2003
V03-54	風かよう道	35分	古い因習にとらわれている主婦とその家族をとおして、六曜、占いなどが差別意識を形成する土壌になっていることを提起しながら、今日的な問題であるコンピュータを悪用した差別事件の絡めて展開していきます。	2003
V03-53	人の世に熱と光を	26分	21世紀の人権文化の思想的原点である「水平社宣言」。人は何故、平等になれないのか。人は何故、尊敬しあえないのか。西光万吉の系譜を引く水平の渇仰者西光寺の清原隆宣さんを通して、水平社宣言の核心を描いた画期的ノンフィクション作品。	2002
V03-52	ハンセン病剥奪された人権	25分	この作品では、現在も国立のハンセン病療養所に暮らす人々、園長及び関係者の証言を取材し、ハンセン病隔離の不幸な歴史と現在の状況を描きます。そして、現代に生きる私たちが、今、考えなければならない人権意識を問います。	2002
V03-51	み一つけた	18分	思ったことをうまく言えない内向的な4年生真樹と転入生俊平は、クラスのみんなから飼育当番をおしつけられる。ある日、うさぎが1匹死んでしまう…。お互いを認め合うこと、自己表現の大切さを描くことで「生きることのすばらしさ」「命の尊さ」を語り掛けてくれる作品。	2002
V03-50	まじめで悪いか	32分	学習や作業にまじめに取り組まない子どもたちが不満で、いらいらを募らせていた少年が、先生の働きかけもあって、自分が他から認められていることに気づき、自信を回復していく。少年の姿を通して、ちがいを認め互いに協力することの大切さを考えさせられる作品です。	2002
V03-49	きまりのないくに	16分	楽しいことが大好きで、きまりなんかどうでもいいと思っていたキリコは、ある日、ネコの案内で不思議な「きまりのないくに」へ…。そこでいろんな体験をしたキリコは、ひとりぼっちの寂しさを知り、友だちを発見して、きまりの大切さに気づくのです。	2002
V03-48	ひまわりとうたおう 字幕スーパー	15分	暑いのが好きなひまわり。すずしいのが好きなコスモス。寒いのが好きな雪だるま。3人が今まで知らなかった相手の気持ちに気づき、雪のお家であたためたり、葉っぱですずしくしたり…。相手の気持ちに気づき行動することの大切さを明るい歌とともに語り掛けてくれる作品。	2002
V03-47	ひまわりとうたおう	15分	暑いのが好きなひまわり。すずしいのが好きなコスモス。寒いのが好きな雪だるま。3人が今まで知らなかった相手の気持ちに気づき、雪のお家であたためたり、葉っぱですずしくしたり…。相手の気持ちに気づき行動することの大切さを明るい歌とともに語り掛けてくれる作品。	2002
V03-46	根絶! 夫からの暴力「あなたは悩んでいませんか？」	27分	恒常的に夫からの暴力を受けて悩んでいる方が、具体的な場面をとおして、法律面・各施設の役割を紹介することで今後どのように対処すればよいのかを、わかりやすく解説しています。	2001
V03-45	金色のクジラ(アニメ)	25分	「待ってるよ、ゆういち! 今、助けてやるから」兄は自分の骨髄液を提供して、白血病の弟の命を救うために手術室に入っていきます。骨髄移植をテーマにした兄弟愛と勇気、家族愛と友情で満ち溢れている感動の物語。	2001
V03-44	いのち輝くとき	30分	最近、深刻な社会問題となっているのが、親による子どもへの虐待です。特に、地域社会から孤立している核家族の親が現代社会や家庭生活のなかで様々なストレスを抱え込み、そのはけ口として抵抗できない子どもへの虐待を行っている…。	2001
V03-43	イソジズ「伝えたいこの思い」	90分	イソジズは結成5年目の学校の先生でつくっているおじさんバンドです。同和問題をはじめとするあらゆる差別の解消に向け、歌うことをとおして、訴え続けています。自分たちの身近な差別問題を歌にしています。このテープは第4回リパティフェスタに出演した時のものです。	2001
V03-42	知らんぷりの目(人に迷惑な事をするのに、どうして誰も注意しないの)	18分	電車内での酔っ払いの言動や、ガムを吐き出す若者の行為にもかわりあいたくないと「知らんぷり」を決め込む周囲の乗客の姿を、小学生の鋭い視点で描いた。他人に冷たい「知らんぷりの目」を回りを思いやる勇気ある「温かい目」に変えていくには?	2001
V03-41	一枚の絵でがみ(アニメ)	43分	一人暮らしの高齢者とその家族や地域の人たちの心のふれあいや支えあいを通して、これから訪れる超高齢化社会に向けての問題を投げかけています。今後、高齢化はますます進み、2050年には国民の3人に1人は高齢者なのです。	2001
V03-40	君にありがとう～アッシーと愉快な仲間たち～	24分	いじめつ子ツヨシはある日、おじいさんから魔法をかけられて、犬にされてしまう。その犬になったツヨシに、いつもいじめられていたユウタがやさしく接してくれた。最初は、ユウタの思いがわからなかったツヨシだが、だんだんと本当の友情が芽生えてゆく。	2001

請求番号	題名	時間	内容	登録年
V03-39	してみませんかボランティア	20分	ボランティア活動をしたいと思っている人は、国民の4人に1人といわれています。自分の生きがいを見つけ、生き生きと活動する人々の姿を紹介し、ボランティアへの第一歩を踏み出すきっかけを与える作品です。	2000
V03-38	小さな一歩から	20分	健全者は障がいをもつ人々のことをどれだけ知っているのでしょうか。差別や偏見、不便を感じさせる建物や乗り物等の仕様等…。障がい者の抱える様々な問題を理解するために、1人の中学生が踏み出した小さな第一歩をドキュメントした作品です。	2000
V03-37	メゾン風の丘	53分	新築のマンションに夢と希望を抱き入居してきた住民。しかし、そこは同和地区であることを知らされていなかった。そこに住んでいるだけで、学校や職場で受ける差別をまのあたりにした住民の心の葛藤を描いた作品。	2000
V03-36	今度逢うとき	55分	祖父母の故郷を訪ね感動する日系三世の孫娘。しかし今なお日本に部落差別が残っていることに大きなショックを受ける。日本の文化「朱塗り」の重箱作りをとおして、まわりに差別をなくす種をまいた少女の姿を描く。	1999
V03-35	人権を考える 女性と子どもと母親	30分	キャリアウーマンとして働く女性と幼い子どもをもつ母親が人権問題に直面し、悩みながら日々の生活の中から誤った知識や偏見のあることに気づき「同和問題」をはじめ、女性差別、在日外国人差別など人権問題を学び、差別解消に向かって行動していく作品。	1999
V03-34	日本昔ばなし 鉢かづき姫	34分	いじめと差別の中で苦境にもめげず、力強く生きた日本民話「鉢かづき姫」の物語は、今の社会における親子の関係と人権問題を語りあえる作品。	1999
V03-33	ぼくだってきれいにしたいんだ	15分	服装の汚れから差別に苦しむ小学3年の正夫の例を取り上げ、差別の不当さに目を向けさせるばかりでなく、差別行動に対して傍観的な態度も問題にしなが、みんなの問題として解決していくことが重要なことだと浮かび上がらせる。	1998
V03-32	あしたの足音	46分	家柄や旧家意識にこだわり、娘の結婚に反対していた父親が自分の心に潜む差別心や偏見に気づくまでの心の軌跡を描く。また、女性差別の問題にも触れ、差別のない明るい社会を築くことの大切さを訴える。	1998
V03-31	残照の中で	55分	「身元調査」の中の凄まじいまでの部落差別。一体、幾つもの人生が犠牲になれば《差別》が愚かな行為と気付くのか。“互いが真実を正しく知る”ことが何より大切であり、差別行為が誰をも決してしあわせにしないものであることを考えさせる。	1997
V03-30	風と大地と梨の木と 第2章 カナエの結婚	40分	カナエの婚約者の写真を見た兄信彦は絶句する。車椅子に乗っている障がい者である。(考え直せ…人生は甘くない…なんでお前がしよいこむんだ…)。高岡はそんな信彦を見て(お前は、俺をとおして何を学んできたんだ)と叱咤する。そして…	1997
V03-29	風と大地と梨の木と 第1章 故郷はひとつ	45分	同和地区出身の高岡が帰郷してきた。友人の母に付き合いを断られた高岡は、ふるさとを一望できる丘で、<この大自然はふるさとを分けない…故郷はひとつだ…>と言う。何がこんなに人を分けるのか、自分たちに今できる事は…	1997
V03-28	クラスメイト	20分	いじめグループが分裂して派閥を作り、クラスを巻き込んだ対立を始めた。いつしかいじめの標的は中立を保つ公子の方へ向いた。それまでいじめられていた聡はその時…。	1997
V03-27	いじめへの挑戦 一学校・家庭・地域のスクラム	32分	“いじめ”をなくすには、学校と家庭が信頼関係のもとに手を携え、「いじめを許さない」「見て見ぬふりをしない」といった固い決意で取り組みを行うことが大切です。この視点からいじめ防止運動を進めてきたある町のいじめへの挑戦の歩みを描いています。	1997
V03-26	残された名刺 ～ある在日一世の軌跡～	30分	すりきれた一枚の名刺。高校生の貴志は、祖父が残した名刺を頼りに持ち主を捜し始めました。やっと捜し当てた名刺の持ち主は「話すことはない。」と、なかなか会ってくれません。やっと会え、彼は静かに語り始めました。話はそこから始まります。	1996
V03-25	現代社会と人権	20分	差別のおこり、差別解消への歩みをふりかえりながら、差別のない社会を実現するにはどうしたらよいか、差別を同和問題に限らず、広く人権問題として考えます。	1996
V03-24	わたしだけが	15分	転校してきて、いわれない差別を受ける小学6年の秋子をめぐり、他の児童の様々な対応の姿を描きながら、直接、差別する者だけでなく、まわりで差別が悪いと知りながら傍観者の立場をとっている子どもも、差別をささえ、温存させているのだということを理解させます。	1996
V03-23	いじめ ～子供たちを守るために～ 早期発見チェックポイント35	60分	現在、学校に根ざした深刻な問題“いじめ”本作品は、教育者の方やいじめっ子・いじめられっ子の家族の方全員に、いじめの実体を認識していただくとともに、子供たちの切実な悩みをいかに早期発見できるか、そのポイントとなる項目をドラマ形式で再現・構成したものです。	1996
V03-22	人権啓発ビデオシリーズ ドキュメント 叫びとささやき	45分	松原市更池の人々は、「屠殺」の仕事子どもたちに伝える。部落と労働への誇りを思う時、それは叫びになる。カメラは、青年たちの取り組みを追い、差別反対の熱い思いを伝える。	1996
V03-21	心の叫びがきこえますか 一いじめ、自殺を考える一	35分	いじめにあった2人の中学生の両親の痛恨の思いをとおして、いじめが人権侵害であり、決して許されない犯罪であるということを検証する。早い段階での親のあり方を具体的に提示し、家庭・学校・地域が力を合わせて取り組むことの大切さを訴える。	1996
V03-20	いじめゼロをめざして 一家庭と学校の連携一	30分	お父さん、お母さん、先生、子どもたちの心の叫び届いていますか？いじめ根絶には、日常の中で悩みを持った子どものSOSを速やかにキャッチし、対応することです。いじめにあった少女のドラマをとおして、家庭と学校の連携の重要性を訴えます。	1996
V03-19	東京の同和問題Ⅱ 差別の現状を考える	30分	差別解消に取り組む5氏の証言から差別の現状を考え、女優の新屋英子さんが一人芝居を通じて差別解消を目指す思いを語ります。ナレーターは、多くの同和教育映画に出演している左時枝さんが務めています。	1996

請求番号	題名	時間	内容	登録年
V03-18	三人兄妹(きょうだい)	43分	個人経営のスーパーに新しい従業員が入社した。その対応振りなどを見て、だんだんと信吾は昌子の人柄に急速に魅かれて行くのだが、彼女が被差別部落の出身と分かり、様々な問題が…。それらに前向きに立ち向かう三人兄妹の生き様を描きます。	1996
V03-17	ならんで一緒に歩きたい ～男女共同参画社会づくりに向けて～	14分	このビデオは、現在日本女性が抱える諸問題をいくつか取り上げ、再現ドラマ形式で紹介しています。さらに、第4回世界女性会議の概要も紹介しています。	1996
V03-16	へんてこなボランティア	40分	読み書きができない老婆と出会った3人の中学生。差別されてきた生い立ち、孫と文通がしたいという話を聞いて、彼らが始めたへんてこなボランティアとは…。	1995
V03-15	みんなで考える部落の歴史 ③部落差別をなくす歩み	27分	石炭産業と被差別部落との関係や「博多毎日新聞社事件」などの様々な解放運動を取り上げ、民衆が解放令をどう受けとめ被差別部落の人々がどのような願いを込めていたかを描く。	1995
V03-14	みんなで考える部落の歴史 ②部落差別の強化	29分	支配者である武士たちが、どのような理由から部落差別を強化し、民衆の対立をあおりつつ、たくみに行刑役や農業などに被差別部落の人々を利用していったかを描く。	1995
V03-13	みんなで考える部落の歴史 ①つくられた身分制度	21分	福岡県の藩によって、異なる身分制度の形成とその中でつくられていった被差別部落について描く。	1995
V03-12	いじめ —その実態と克服の道を探る—	36分	実例をもとに、ストーリーを構成し、いじめの実態を探りながら、いじめを克服してゆくには子ども・親・教師が本音を出し合い、手を取り合って対処していかなければならないことを訴える。	1995
V03-11	許すないじめ —今中学生として—	26分	いじめの典型的事例を描きながら、様々な問題を提起し、生徒自身にいじめをなくすにはどうしたらよいか、全員がもう傍観者ではられないのだと訴える。	1995
V03-10	友だちの心の痛み	25分	学級からいじめをなくすには、クラスのみんががいじめられている友だちの心の痛みが分かることが不可欠だ。一つの具体的な事例を通してこの問題を考える。	1995
V03-09	ほんのちょっと変えてみよう	14分	難民として暮らしている子どもたちの生の声を聞き、難民の救済や難民問題の解決を考える。	1995
V03-08	あそびたいなあ	18分	自由に遊び、生活していた少年が、大けがをして味わった不自由な生活から、障がい者への思いやりや励ましの心を学んでいく様子を描いた。	1994
V03-07	海のコウモリ	28分	人々の心の中に潜む偏見や差別意識について具体的に考え、分け隔てなく、一人の人間として認めあうことの大切さを訴える。	1994
V03-06	私は負けない	25分	いじめや部落差別に苦しんでいる児童が、自らの力でその不当性に立ち向かうことの大切さ、更に、無関心な層を被差別者の子どもたちを支える層に変えてゆくために、自分たちの持っている気づかざる差別意識や優越感に気づくことの大切さを訴える。	1994
V03-05	今、女たちは変わろうとしている —ストップ・ザ・性差別—	31分	男女雇用機会均等法も施行されたが、真の男女平等はどうか。女性の手で、女性のために制作された初めての教材。家庭、地域、職場等で取り組みをしている人々の姿を紹介し、女性の人権の現状と展望を考える。	1994
V03-04	あなたへ問いかける—同和教育を考える—	35分	豊中市の小学校4年生の教室で、授業参観をした後、子どもの頃同和教育を受けたことなかった保護者が、学校の同和教育について素直に意見や疑問を述べあいながら同和教育を考える。	1994
V03-03	いじめ 中学生激論ドラマ	45分	あるクラスの生徒同士の討論を通して、いじめの心の底にある心の問題に迫る。本音をぶつけ合うことの中から、命の尊さに気づく過程を描き、話し合うこと、理解し合うことの大切さを訴える。	1994
V03-02	おんなじ空の下で—私たちの社会参加—	25分	さまざまな障がいをもつ人々の生活の様子や自立への取り組みを通して、社会参加のあり方について投げかけている。	
V03-01	社会福祉—障がい者とともに歩む—思いやりを行動に	18分	身体に障がいを持っている人のために国立リハビリテーションセンターの役割を紹介しながら、障がい者の社会的不利益を取り除くためには、社会的環境の整備やまわりの人たちの思いやりが大切であることを訴えている。	

情報学習センターの人権教育関係ビデオです。

請求番号の先頭がVのものはVHSビデオテープ、DのものはDVDビデオ、CのものはPC教材です。電話で予約OK。

お問い合わせは、545-8616まで